

令和7年度 第3回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 2025年11月17日（月） 14時から15時20分
2. 開催場所 天竜中学校会議室
3. 出席委員 齋藤 誠、鈴木滋芳、岡安智代、中村まゆみ、高橋靖博、匂坂典男、清水利恭
（敬称略） 小枝智美、伊藤太一（CSコーディネーター）
4. 欠席委員 米山英二
5. 学 校 刑部 吏（校長）、山城百孝（教頭）、山下悦子（主幹教諭）
長谷川奨（生徒指導主事）、松本 純（2年学年主任）
佐野正已（校務アシスタント/CSディレクター）
6. オブザーバー 堀内信広（天竜協働センター長）
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 CSディレクター 佐野正已
9. 議長の選出

司会（山城教頭）より議長希望者を委員各位に募るも立候補はなかった。齋藤委員から鈴木滋芳さん推薦の提案があり全委員了承でお願いすることとした。

10. 協議事項 (1) 職場体験 松本2年学年主任
(2) いじめアンケートの結果より 長谷川生徒指導主事
(3) 休日の地域展開について 刑部校長
(4) 天竜中学校部活動の休部・廃部に関する規定 //
11. 報告 (1) 生徒のボラティア活動参加状況について 山城教頭
(2) 桜並木の保全活動について //
(3) 全国学力・学習状況調査の結果について 山下主幹教諭
(4) 翔龍祭・華龍祭の保護者の見学状況 山城教頭
(5) 教育委員会から //

学校運営協議会の自己評価について（第4回学校運営協議会に持参）

12. 会議記録

委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達していることから会議は成立とした。

協議事項

(1) 職場体験

○10月16日、17日の2日間で予定通り実施した。子供たちは問題を起こすこともなく無事体験できた。また受け入れてくれた事業所側からのクレームもなく実施することができた。受け入れていただいた事業所は63か所で積極的に対応していただき感謝している。
（松本2年学年主任）

(2) いじめアンケートの結果について

○1学期はタブレットを使ってWeb画面で実施したが、今回は紙面のアンケートで実施、生徒とご家庭で答えていただいた。結果、1件だけいじめの報告があった。今回のアンケートでよかった点としては、本人からでなく第3者の目撃証言として打ち上げがあった点で、こうした指摘が一番多かった。子供たちが第3者の目でいじめを危惧し打ち上げてくれたことでいじめを考えてくれてよかったと思う。尚、年度初めから現在までのいじめ報告は35件、都度個別に対応している。（長谷川生徒指導主事）

- ・学校全体でいじめに対応していただいているのはよいと思う。（齋藤委員）
- ・華龍祭や翔龍祭を見ている生徒たちがみんなで仲良くひとつの目標に向かって取り組んでいる。こんな姿を見ているといじめもそんなに感じられなかったと思っている。

（高橋委員）

- ・子供のいじめはフラストレーション等負の感情が高まることで起こると思うので、このフラストレーションを取り除く様に務めて欲しい。（匂坂委員）
- ・非行とかおかしいことをするような生徒は出ていないか？（鈴木滋芳委員）
→他校では起こっているようだが、天中では起きていない。（長谷川生徒指導主事）

（3）休日の地域展開について

○天中の部活動は17あり、1年生総数192人のうち164人（外部の4人は含まず）が部活動をしている。また部活顧問の時間外対応で今年4月から6月までの月間平均時間が100時間越えの先生は陸上競技で3人、サッカーで2人、水泳1人、吹奏楽で1人、カルチャーで1人（これは生徒への個別対応業務も含む）、顧問に対してかなりの負荷がかかっている。こうした中、文科省の指針によって休日の地域展開の検討が始まった。令和8年9月から完全移行となる。浜松市教育委員会是指針として①休日の部活動指導は原則教員が行わない。②大会の引率・指導は教員も可能③休日の活動は生徒の希望を踏まえ地域展開する。こうした点から**休日の指導体制の変化による生徒への影響や指導の質や継続性への懸念**が課題としてある。これらの課題に対応するため学校と地域の協力体制の構築、また生徒や保護者のニーズに応じた体制整備が必要となる。今後天中はYCT（やっちゃえ天中の略）でとりまとめ、浜松市が進める地域クラブ活動『はまクル』に登録して活動できるようになると体制が整うこととなる。（刑部校長）

- ・情報提供として、浜松市自治会連合会の教育部会でもこのテーマに取り組んでいる。また中野町の自治会連合会も浜松市教委から説明を受けている。（齋藤委員）

→学校側でもPTA役員会で作業の進捗状況を都度説明している。（刑部校長）

- ・今日の説明で作業が大分進んでいることがわかった。話の方向性も良いのではと理解した。（伊藤太一委員）

（4）天竜中学校部活動の休部・廃部に関する規定

○先に説明したとおり天中は現在17の部活がある。これが次年度も続くと部活1つで2人の顧問が必要だとすると34人の教員が必要だが、来年度の教員計画は31人で人員が不足する状態にある。教員の手当てや少子化による生徒数の減少、学校の働き方改革等を踏まえ、今回部活動の休部・廃部に関する規定を作成した。他校の規定も参考にしながら作成したが、この原案について委員の皆さんのご意見を伺いたい。（刑部校長）

→委員の皆様には次回の運営協議会でご意見を賜りたいので内容の確認をお願いしたい。

（鈴木滋芳議長）

- ・平日は先生が指導して土日の大会では他の指導者がやるということになるとその間の橋渡しはどうなるのかと思っている。（小枝委員）
- ・平日だけの場合は試合ができないことになっている。対外試合は土日の学校地域クラブでしかできない。だから試合をする場合はクラブの設立が絶対条件になる。ただし中体連の大会は教員の引率も可。指導者のメンバーは条件が整えば『はまクル』に登録される。（刑部校長）

→今回の案を精査していただき次回の協議会で最終確認をして(案)をとることとしたい。

（鈴木滋芳議長）

報告事項

(1) 生徒のボランティア活動について

詳細は別紙参照

(2) 桜並木の保全活動について

桜並木の由来を鑑みて昨年度同様来賓をお招きして植樹を進める。(山城教頭)

(3) 全国学力・学習状況調査(3年生)の結果について

○学力調査は国語、数学、理科の3教科とも全国平均を上回っていたが、数学は15問中7問以下でしか理解できない生徒が全体の4割強いて、概ね学習内容を理解している生徒と十分な理解ができていない生徒の2極化が見られた。また質問表で今の3年生が小学校6年生の時のデータと設問ごとに比較してみたが、毎朝の朝食を食べて登校している割合は小学生時より若干下がっているが95%と高い。自分の将来の夢や目標についての確認でも小学6年生時の85%前後から下がってはいるが70%台と県や全国平均とほぼ同等。また人が困っている時、進んで助けるかの問いに天中生は95.6%と県や全国の90%前後より高い結果であった。(山下主幹教諭)

(4) 翔龍祭・華龍祭の保護者の見学状況

詳細略 翔龍祭、華龍祭ともに多くの保護者の参加していただき感謝している。

(山城教頭)

(5) 学校運営協議会の自己評価について(第4回学校運営協議会に持参)

昨年同様、活動の自己評価についての報告をお願いしたい。次回の運営協議会での提出をお願いしたい。(山城教頭)

(6) 今後の予定

第4回学校運営協議会 令和8年2月17日(火) 14:00~15:30